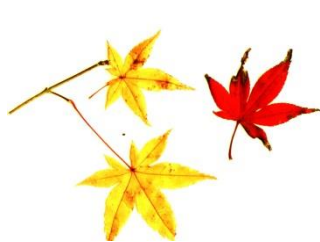


秋保大滝植物園だより No.4 もみじ号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。今回は園内で見ることのできる紅葉(もみじ)の仲間です。※カエデ科はムクロジ科に変更されました



ハウチワカエデ【葉団扇楓】
(別名：メイゲツカエデ) 葉柄は短い。葉は大きく、切れ込みが浅い。



イロハモミジ (別名：コハモミジ、タカオカエデ、イロハカエデ)
葉は、先が尖り、掌状に5〜7深裂する。園内に自生は無い。



オオモミジ【大紅葉】 イロハモミジの変種。イロハモミジより葉が大きく、7〜9裂する。縁には細かくそろった鋸歯がある。



ヤマモミジ【山紅葉】 イロハモミジやオオモミジに似ているが、葉の縁は著しい重鋸歯、または欠刻状の鋸歯がある。



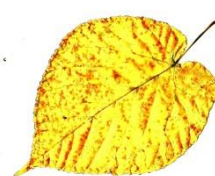
コハウチハカエデ【小葉団扇楓】
(別名：イタヤマゲツ) 葉柄に軟毛あり。葉は掌状に7〜11裂する。



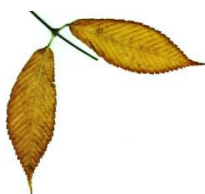
イタヤカエデ【板屋楓】
葉は楕円形で、5〜7中裂(又は浅裂)。葉の大きさや裂け方などは変異が多い。



ウラゲエンコウカエデ【裏毛猿猴楓】 イタヤカエデの変種。葉は掌状に5〜7深裂。葉裏の脈基部と脈状に毛がある。



ヒトツバカエデ【一葉楓】
(別名：マルバカエデ) 葉は倒卵状円形で、切れ込みは全くない。基部は心形。



チドリノキ【千鳥の木】
(別名：ヤマシバカエデ) 葉は卵状長楕円形で平行する多数の側脈が目立つ。切れ込みはない



カジカエデ【梶楓】
別名：オオモミジ 葉は掌状に5裂する。上部の3裂が大きい。



コミネカエデ【小峰楓】
葉は5〜8センチで、掌状に5深裂するものが多い。裂片の先は尖る。



ウリハダカエデ【瓜肌楓】
葉の質はやや厚く、上部が浅く3裂する。樹皮が暗緑色でマクワウリの実に似ているのでこの名がある。



メグスリノキ【目薬の木】
(別名：チョウジャノキ) 葉は3出複葉。裏面に灰褐色の毛が密生



ミツデカエデ【三手楓】
葉は3出複葉。縁にはあらい鋸歯。裏面脈状には白い毛あり。



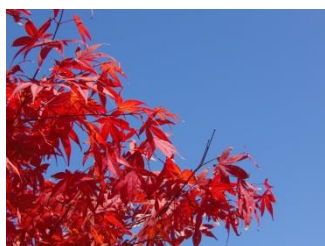
オオモミジ (品種名：ノムラ)
古名はムサシノ(武蔵野) 縁には細かくそろった鋸歯。裏面はやや光沢あり。



ヤマモミジ (品種名：ベニダレ)
新芽は鮮やかな紅色で、開きると紫紅色になる。葉は7〜9全裂し裂片は細かい。ふちには欠刻状の鋸歯あり。



すだれ滝から休憩所へ向かう遊歩道付近の紅葉。モミジだけでなく他の樹木とのコントラストが見所。園内の紅葉は10月下旬〜11月中旬までが見頃。



最近仲間入りしたオオモミジの品種。春から秋まで赤い色を保つが、特に春と秋が最高。芝生広場の手前に植栽してある。



植物園出入り口付近のヤマモミジ。その年の昼夜の温度差によって色の変化がみられる。園内の自然林にも多く自生している。



芝生広場東のウリハダカエデ。ウリハダカエデは、黄色から橙色が主。紅葉の当り外れがなく毎年目を楽しませてくれる。